

令和7年 台風第22号における東京都八丈町災害時支援活動実績

MAFF-SAT（農林水産省・サポート・アドバイス・チーム）〈関東農政局〉

取組内容：①初期情報収集、②緊急概査

支援の内容

10月5日に小笠原近海で発生した台風第22号は、9日の朝に伊豆諸島に最も接近した。
10月9日9:00時点で中心の気圧は940hPa、中心付近の最大風速は50m/s、最大瞬間風速は70m/sの暴風となった。
また、8日から9日にかけて、伊豆諸島では記録的な大雨となり、八丈町で24時間降水量が356.5mmとなり、観測史上1位の値を更新した。
台風第22号により、農地・農業用施設が被災し、農地には土砂が流入し、フェニックス・ロベレニーなどが被害を受けた。農道やため池の管理用道路は、倒木や法面の崩落により寸断され、被災状況の確認に支障をきたした。排水路は内部に土砂が流入したほか、一部の区間では基礎部が洗掘される被害が発生した。
関東農政局は東京都を通じて八丈町に対し聞き取りを行い、10月23日（木）に関東農政局防災課職員をMAFF-SATとして派遣した。

日時	市町村名	聞き取り者	対応者
10月23日（木）	東京都八丈町	関東農政局 農村振興部 防災課 災害査定官、災害係長	東京都 農業振興課 主任 東京都八丈支所 産業課 主任 東京都土地改良事業団体連合会 参事、主査 八丈町 産業観光課 係長



農道の被災状況



排水路の被災状況



倒木の延長の計測方法の指導



被災規模、概算被害額の算出の支援

派遣時における指導・助言

- ・ 初期情報収集として、農地・農業用施設の被災規模、概算被害額の算出を支援。
- ・ 倒木の幹回りや被災延長の計測方法及び災害査定に必要な写真の撮影方法を指導。
- ・ 詳細な被害額の把握や早期復旧のための技術支援にもMAFF-SATが使用可能であることを助言。